

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

弘前大学大学院人文社会科学研究科<修士課程>

1 概要

高度で特色ある教育・研究を通して、地域社会の課題や日本全体の社会変化・制度変動に対応できる高度専門職業人の養成を目的とします。

2 求める学生像

- ・ 学術の深奥を究めようとする人
- ・ 中学校、高等学校教諭の専修免許状を得るなどして、高度資格社会に対応しようとする人
- ・ 地域社会・グローバル社会において活躍しようとする人
- ・ 社会の経験に基づいて専門性を高め、スキルアップを図ろうとする人 など

3 入学前に身に付けておいてほしいこと

大学院において、より専門的な学術研究に従事していくため、研究内容や成果を論文（レポート）の形にまとめることは、有意義で重要なステップとなります。

また、それぞれの専門に必須な語学（古典語を含む）を意識的に修得しておくことも求められています。

さらに、中学校、高等学校の専修免許状取得を希望する場合は、学部において一種免許状を取得しておくことが望まれます。

4 入学者選抜の基本方針

文化科学・社会科学に関する基礎学力、より専門的な知識・技術を探求する意欲や計画等を評価するために、次の方法で入学者選抜を行います。

(1) 一般選抜

専門科目（筆記試験）及び口述試験の結果を総合して選抜します。

（成績証明書・研究計画書は、口述試験の基礎資料として使用します。）

(2) 推薦特別選抜

口述試験により選抜します。

（成績証明書・研究計画書は、口述試験の基礎資料として使用します。）

◎文化科学専攻

1 概要

現代社会を作り上げた人間とその歴史、文化のさまざまな在り方について深くかつ広い視野から探求し、そこから見出される叡智を未来に生かし得る人材の養成を目的とします。

2 求める学生像

- ・ 古今の文化現象について、資史料やデータに基づき、論理的で綿密な考察を行うことにより、人間社会の深層を明らかにしたい人

◎応用社会科学専攻

1 概要

経済学、経営学、法学、政治学、社会学など社会科学全体を横断的に連携させ、高度な専門教育を行うとともに、複雑化、高度化しつつ進展する社会経済システムを多角的かつ複合的な視点から把握し分析する能力を有する人材の養成を目的とします。

2 求める学生像

- ・ 国家の役割、社会のありかた、経済のメカニズム、人間行動の実態に複眼的に切り込み、洞察を深めたい人